| | | | |
|---|---|---|---|
| 学期／Semester | 2020年度／Academic Year　後期／Second Semester | 曜日・校時／Day・Period | 月／Mon 1 |
| 開講期間／Course duration | 2020/09/28～2021/01/25 | | |
| 必修選択／Required / Elective | 選択／elective | 単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード／Time schedule code | 20200586027101 | 科目番号／Course code | 05860271 |
| 科目ナンバリングコード／Numbering code | GEMA 15051_005 | | |
| 授業科目名／Course title | ●A2国際環境法／International Environmental Agreements | | |
| 編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus | 山下　敬彦／Yamashita Takahiko | | |
| 授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course | 山下　敬彦／Yamashita Takahiko | | |
| 授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s) | 山下　敬彦／Yamashita Takahiko | | |
| 科目分類／Course Category | 全学モジュールＩ科目，教養モジュールＩ | | |
| 対象年次／Intended year | 1，2，3，4 | 講義形態／Course style | 講義／Lecture |
| 教室／Class room | 教養教育B棟15／RoomB-15 | | |
| 対象学生（クラス等）　/Intended year (class) | 多・教・経・薬・水 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | yamac▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください） | | |
| 担当教員研究室/Office | 工学部２号館Ｅ?４０５ | | |
| 担当教員TEL/Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 別途指示する | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 環境問題に対する考え方，環境法（国際法）の歴史と特質を理解させるとともに，境問題の基本的考え方や国際環境法の理念・精神を理解させ，人類の持続可能な発展を実現するための基本的な知識と姿勢を身につけさせる。合せて，自主的探求能力や日本語コミュニケーション能力の向上等を目指す。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | 環境問題に対する考え方，環境法（国際法）の歴史と特質を理解させる。国際環境法の理念・精神を理解させる。<br>主に，全学モジュールの目標の①，②，⑥，⑦，⑩に対応する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 ) | ■主体性／Autonomy　□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　■多様性の理解／Understanding Diversity　□協働性／Cooperativeness　□考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | ■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br>/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>□B.多角的に考えるために他者と関わる活動 <br>/ Activities involving others to think from various perspectives<br>□C.技能修得のために実践する活動 <br>/ Activities to practice for acquiring skills<br>□D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>□E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>□F.教員からの講義のみで構成される <br>/ It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 確認試験30%、主体的学習・レポート70%で評価し、60%以上を合格とする。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | 事前に関係する資料に目を通しておく。（平均２時間）　講義終了後にはレポート作成の準備を行う。（平均２時間） | | |
| キーワード/Keywords | 環境マネージメント、国際環境法 | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 教科書は使用しない。教材はＰＤＦファイルで提供する。参考書は適宜紹介する。 | | |
| 受講要件（履修条件）/Prerequisites | 特になし | | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考（URL）/Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 興味を持って参加してもらいたい | | |

| | |
|---|---|
| 実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N ) | N |
| 実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細／Course Schedule | |
| 回(日時)／Time(date and time) | 授業内容／Contents |
| 第1回 | ガイダンス：科目の概要，狙い，位置づけ，到達目標，授業の方法，各単元の到達目標，評価方法等を理解する。 |
| 第2回 | ?T環境問題をどのように考えるか：環境問題とは？環境をどのように考えるか？（環境に対する基本的な考え方，環境倫理）等について考え，それらを簡潔にまとめる。 |
| 第3回 | ?U国際環境法の歴史と特徴：二国間における紛争の平和的解決の条約から「部門別アプローチ」の国際環境法を経て，国際共同体全体の利益を管理する取組みへと移行した歴史と，現代の国際環境法の特質等を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第4回 | ?V人間環境宣言：二国間における紛争の平和的解決のための条約から「部門別アプローチ」のタイプの国際環境法への転機となった国際連合人間環境会議における「人間環境宣言」の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第5回 | ?W第一世代の国際環境法：第一世代の代表的な国際環境法であるラムサール条約，ユネスコ世界遺産条約及びワシントン条約の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第6回 | ?X第二世代の国際環境法（その１）：第二世代の代表的な国際環境法のうち，ウイーン条約とそれに附属するモントリオール議定書の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第7回 | ?X第二世代の国際環境法（その２）：第二世代の代表的な国際環境法のうち，バーゼル条約の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第8回 | ?X第二世代の国際環境法（その３）：第二世代の代表的な国際環境法のうち，気候変動枠組条約及びその第３回締約国会議で作成された京都議定書の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第9回 | ?X第二世代の国際環境法（その４）：第二世代の代表的な国際環境法のうち，生物多様性条約及びそれに附属するカルタヘナ議定書の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第10回 | ?X第二世代の国際環境法（その６）：第二世代の代表的な国際環境法のうち，ロッテルダム条約及びストックホルム条約，水銀条約の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第11回 | ?Yソフト・ロー（その１）：ソフト・ロー的な法的拘束力のない文書の役割とそれらの文書のうち，世界自然憲章，森林原則宣言及び環境と開発に関するリオ宣言の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第12回 | ?Yソフト・ロー（その２）：ソフト・ロー的な法的拘束力のない文書のうち，アジェンダ21及び持続可能な開発に関するヨハネスブルク宣言の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第13回 | ?Z非政府組織の参加と国際環境法の課題：現代の国際環境法の特質の一つである私的アクター，すなわちNGO（非政府組織）の存在とその組織及び活動について理解を深める。また，気候変動枠組条約と途上国，国際環境法間の連携，環境と貿易などの国際環境法の課題を理解し，簡潔にまとめ |
| 第14回 | 演習 |
| 第15回 | テスト・レポートのまとめ：テストによる知識の定着の確認を行う。また，環境法（国際法）と環境問題への取組みのまとめを完成させる。ポイント：もれなく，ダブりなく，分かりやすく簡潔に自分の言葉でまとめる。 |
| 第16回 | 総括：講義の評価を行い，改善点等について議論する。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 学期／Semester | 2020年度／Academic Year　後期／Second Semester | 曜日・校時／Day・Period | 火／Tue 2 |
| 開講期間／Course duration | 2020/09/28～2021/01/26 | | |
| 必修選択／Required / Elective | 選択／elective | 単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード／Time schedule code | 20200586027301 | 科目番号／Course code | 05860273 |
| 科目ナンバリングコード／Numbering code | GEMA 15061_005 | | |
| 授業科目名／Course title | ●A2国内環境法Ⅰ／Domestic Environmental LawsⅠ | | |
| 編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus | 竹下　哲史／Takeshita Satoshi | | |
| 授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course | 竹下　哲史／Takeshita Satoshi | | |
| 授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s) | 竹下　哲史／Takeshita Satoshi | | |
| 科目分類／Course Category | 全学モジュールⅠ科目 | | |
| 対象年次／Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態／Course style | 講義／Lecture |
| 教室／Class room | 教養教育A棟22／RoomA-22 | | |
| 対象学生（クラス等）　/Intended year (class) | 多・教・経・薬・水 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | juniper▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください） | | |
| 担当教員研究室/Office | 研究開発推進機構 2F | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2227 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | メールで問い合わせ | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 日本における環境問題とそれらに対する対策の考え方や歴史,国際環境法との関係を理解させるとともに,「環境基本法」の主旨を理解させ,人類の持続可能な発展を実現するための基本的な知識と姿勢を身につけさせる.<br>併せて,自主的探求能力や日本語コミュニケーション能力の向上等を目指す. | | |
| 授業到達目標/Course goals | 日本における環境問題とそれらに対する対策の考え方や歴史,国際環境法との関係を理解させる.「環境基本法」の主旨を理解させる. | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 ) | ■主体性／Autonomy　□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□協働性／Cooperativeness　□考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | ■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br>/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>□B.多角的に考えるために他者と関わる活動 <br>/ Activities involving others to think from various perspectives<br>□C.技能修得のために実践する活動 <br>/ Activities to practice for acquiring skills<br>□D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>□E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>□F.教員からの講義のみで構成される <br>/ It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 主体的学習20%,試験20%,レポート60%で評価し,60%以上を合格とする. | | |
| 各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | 予習は特に必要ありませんが，環境問題に関するニュースや新聞記事に目を通しておくこと（2h）.<br>授業後は，提示資料と授業内容をレポート用にまとめておくこと（2h）. | | |
| キーワード/Keywords | 日本の環境問題 環境対策の考え方 国際環境法との関係 環境基本法 環境基本計画<br>環境教育 | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 教科書は使用しない．教材はPDFファイルで提供する．参考書は適宜紹介する. | | |
| 受講要件（履修条件）/Prerequisites | 特になし | | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考（URL）/Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 特になし | | |

| | |
|---|---|
| 実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N ) | N |
| 実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細／Course Schedule | |
| 回(日時)／Time(date and time) | 授業内容／Contents |
| 第1回 | 【日本の環境と環境政策】<br>日本における環境問題とそれらへの対策の考え方や歴史,さらに国際環境法との関係等を理解する. |
| 第2回 | 【環境基本法】<br>日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の概要,目的,基本理念,及び各主体の責務を中心に理解する. |
| 第3回 | 【環境基本法】<br>日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の基本的施策の主旨を理解する. |
| 第4回 | 【環境基本計画】<br>日本における環境政策の基本である環境基本計画の概要並びに第五次環境基本計画の主旨を理解する. |
| 第5回 | 【環境基本計画】<br>第五次環境基本計画における環境・経済・社会の状況及び環境政策の展開の方向について理解する. |
| 第6回 | 【環境基本計画】<br>第五次環境基本計画における重点戦略の設定と重点戦略ごとの環境政策の展開について理解する. |
| 第7回 | 【環境基本計画】<br>第五次環境基本計画における重点戦略を支える環境政策の展開及び計画の効果的実施について理解する. |
| 第8回 | 【環境基本計画】<br>第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する. |
| 第9回 | 【生物多様性の確保】<br>環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要,目的,基本原則等を理解する. |
| 第10回 | 【循環型社会の形成】<br>環境基本法の下位法である循環型社会形成推進基本法の概要,目的等を理解する. |
| 第11回 | 【エネルギー政策】<br>エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について,その基本方針と各主体の役割分担について理解する. |
| 第12回 | 【オゾン層の保護に関する法律】<br>オゾン層保護法（特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律）の主旨を理解する. |
| 第13回 | 【環境教育等による環境保全促進法】<br>環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する. |
| 第14回 | 【演習】<br>演習問題による知識の定着の確認を行う. |
| 第15回 | 【まとめ】<br>学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる. |
| 第16回 | 【総括】<br>講義の評価を行い,改善点等について議論する. |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 学期／Semester | 2020年度／Academic Year　後期／Second Semester | 曜日・校時／Day・Period | 火／Tue 1 |
| 開講期間／Course duration | 2020/09/28～2021/01/26 | | |
| 必修選択／Required / Elective | 選択／elective | 単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード／Time schedule code | 20200586027501 | 科目番号／Course code | 05860275 |
| 科目ナンバリングコード／Numbering code | GEMA 15071_005 | | |
| 授業科目名／Course title | ●A2国内環境法Ⅱ／Domestic Environmental LawsⅡ | | |
| 編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus | 久保　隆／Kubo Takashi, 河合　孝尚／Kawai Takahisa | | |
| 授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course | 久保　隆／Kubo Takashi | | |
| 授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s) | 久保　隆／Kubo Takashi, 河合　孝尚／Kawai Takahisa | | |
| 科目分類／Course Category | 全学モジュールⅠ科目 | | |
| 対象年次／Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態／Course style | 講義／Lecture |
| 教室／Class room | 教養教育A棟22／RoomA-22 | | |
| 対象学生（クラス等）　/Intended year (class) | 多文化社会学部、教育学部、経済学部、薬学部、水産学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | kubo-t▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください） | | |
| 担当教員研究室/Office | 環境科学部 環335室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2756 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 事前連絡があれば随時受け付ける。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 教養科目。国内の主な環境関連法の主旨を理解させるとともに，環境コミュニケーションの重要性を理解させ，人類の持続可能な発展を実現するための基本的な知識と姿勢を身につけさせる。併せて，自主的探求能力や日本語コミュニケーション能力の向上および社会貢献意欲の醸成等を目指す。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | 国内の主な環境関連法の趣旨を理解する。環境保全や環境コミュニケーションの重要性を理解する。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 ) | ■主体性／Autonomy　□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking | ■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br>/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 <br>/ Activities involving others to think from various perspectives<br>□C.技能修得のために実践する活動 <br>/ Activities to practice for acquiring skills<br>□D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>□E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>□F.教員からの講義のみで構成される <br>/ It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 主体的学習20%，試験20%，レポート60%で評価し，60%以上を合格とする。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | 講義で扱うテーマを提示するので、それについてネットなどを使って調べる。(2h)<br>講講義資料を復習すると共に，講義内容をまとめ、理解を深める。(2h) | | |
| キーワード/Keywords | 環境関連法，環境配慮，環境コミュニケーション，日本のエネルギー事情 | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 教科書は使用しない。教材はＰＤＦファイルで提供する。<br>参考書：「地球環境問題がよくわかる本」（2017）オーム社 | | |
| 受講要件（履修条件）/Prerequisites | 授業外学習に充てるべき時間：週平均4時間以上 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考（URL）/Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 聴くだけでなく、グループディスカッション等で発言を求められることも多い講義です。積極的な取組を期待します！ | | |

| | |
|---|---|
| 実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N ) | N |
| 実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細／Course Schedule | |
| 回(日時)／Time(date and time) | 授業内容／Contents |
| 第1回 | 大気環境の保全:<br>大気汚染防止法の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第2回 | 水環境の保全:<br>水質汚濁防止法の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第3回 | 廃棄物の処理:<br>廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第4回 | エネルギー使用の合理化:<br>省エネ法（エネルギー使用の合理化に関する法律）の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第5回 | 地球温暖化対策:<br>温対法（地球温暖化対策の推進に関する法律）の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第6回 | 日本のエネルギー事情（その１）：<br>日本のエネルギー事情について学ぶ。 |
| 第7回 | 日本のエネルギー事情（その２）：<br>日本のエネルギー事情について学ぶ。 |
| 第8回 | 化学物質の管理（その１）:<br>PRTR法，化管法（特定化学物質の排出量の把握等及び管理の促進に関する法律）の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第9回 | 化学物質の管理（その２）:<br>化学物質等安全性データシートの概要を理解する。 |
| 第10回 | 化学物質の管理（その３）:<br>毒物及び劇物取締法の主旨を理解し、簡潔にまとめる。 |
| 第11回 | 環境への配慮:<br>環境配慮促進法（環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律）の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第12回 | 環境物品等:<br>グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進に関する法律）の主旨を理解し，簡潔にまとめる。 |
| 第13回 | 環境報告書:<br>長崎大学環境報告書等を例にとり，環境コミュニケーションの重要性について理解を深める。 |
| 第14回 | 演習:<br>演習により、知識の整理を行う。 |
| 第15回 | まとめ:<br>テストによる知識の定着の確認を行う。また，環境関連法（国内法）と環境コミュニケーションのまとめを完成させる。ポイント：もれなく，ダブりなく，分かりやすく簡潔に自分の言葉でまとめる。 |
| 第16回 | 総括:<br>講義の評価を行い，改善点等について議論する。 |